

00	09	03	002	永年保存	起案	平成	年	月	日	決裁	平成	年	月	日
議長	副議長	事務局長	次長	主査	主査	担当	文書取扱主任							

第14回 新滝川市活力再生プラン調査等特別委員会 会議録

開催年月日	平成21年4月24日（金曜日）	開会：13時32分	閉会：14時08分
開催場所	第一委員会室		
出席委員	山腰、荒木、酒井、窪之内、関藤、本間、山口、大谷、堀。議長。委員外議員～水口、井上、渡辺	事務局	中嶋事務局長
欠席委員			田湯次長
説明員	別紙のとおり		村井主任主事
議件	別紙のとおり		
議事概要	1 所管からの報告事項について		
	次の事項について質疑を行い報告済みとし、成案となることを確認した。		
	（1）新滝川市活力再生プラン（案）について		
	2 特別委員会の取り扱いについて		
	次の事項について確認した。		
	・新滝川市活力再生プラン調査等特別委員会は本日で終了する。		
	・特別委員会の委員長報告は行わない。		
	・特別委員会の終了に伴い今後は各常任委員会に報告されることになる。		
	・各常任委員会で調整がつかない場合は議会運営委員会で協議する。		
	3 その他について		
	副市長からお礼のあいさつがあった。		
	正副委員長による退任のあいさつがあった。		

平成21年4月21日

滝川市議会議長 中 田 翼 様

滝川市長 田 村 弘

新滝川市活力再生プラン調査等特別委員会への説明員の出席について

平成21年4月13日付け滝議第9号で通知のありました新滝川市活力再生プラン調査等特別委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市長の委任を受けた者

副市長	末 松 静 夫
総務部長	高 橋 賢 司
総務部次長	高 橋 一 昭
総務部総務課長	伊 藤 克 之
総務部総務課副主幹	横 山 浩 丈
総務部総務課副主幹	佐 藤 之 俊
総務部総務課主査	小 畑 力 也
総務部総務課防災危機対策室長	高 瀬 慎二郎
総務部総務課防災危機対策室副主幹	橋 本 正 明
総務部企画課長	田 中 嘉 樹
総務部企画課主査	関 山 佳 世
総務部企画課交流推進室長	山 内 康 裕
総務部財政課長	吉 井 裕 視
総務部財政課主査	景 由 隆 寛
総務部財政課主査	堀之内 孝 則
総務部行政経営課長	五十嵐 千夏雄
総務部行政経営課副主幹	浦 川 学 央
市民生活部長	西 村 孝
保健福祉部長	狩 野 道 彦
保健福祉部福祉課副主幹	谷 本 敏 史
保健福祉部子育て応援課長	佐々木 哲
保健福祉部介護福祉課主査	深 村 栄 司
経済部長	多 田 幸 秀
建設部長	大 平 正 一
市立病院事務部長	東 照 明
教育部長	舘 敏 弘

(総務部総務課総務グループ)

第14回 新滝川市活力再生プラン調査等特別委員会

H21. 4. 24(金) 午後1時30分
第一委員会室

○ 開 会

○ 委員動静

1 所管からの報告事項について

(1) 新滝川市活力再生プラン(案)について

(資 料) 行政経営課

2 特別委員会の取り扱いについて

3 その他について

○ 閉 会

第14回 新滝川市活力再生プラン調査等特別委員会

H21. 4. 24(金) 13 : 30～

第 一 委 員 会 室

開 会 13 : 32

委員動静報告

委員長 全員出席。議長出席。委員外議員～水口、井上、渡辺。道新の傍聴を許可する。

1 所管からの報告事項について

(1)新滝川市活力再生プラン（案）について

委員長 所管から説明願う。

浦川副主幹 (別紙資料により説明。)

本日は新滝川市活力再生プラン（案）を配付している。

委員長 説明が終わった。何か質疑はあるか。

酒 井 内容については、今までの特別委員会で十分整理されている。意見の集約について伺いたい。さまざまな公共施設に素案が置いてあり、比較の見やすい形で進められたと思うが、意見は1件だけであった。案がとれて正式なプランになるが何か考えることはないか。例えばもっとわかりやすいダイジェスト版のほうよかったのかもしれない。論点がぼけてしまい見ない方が多かったと思うがいかがか。

浦川副主幹 確かに市民の意見は非常に少なかったと受けとめている。公共施設等への配置については、素案を1部ずつ配置したほか概要版を数十部ずつ置き、自由に持ち帰りをできるようにした。概要版は町内会の班回覧でも回した。意見回収するときに町内会の方とも話をさせていただいたが、内容についての意見はない状況であった。

酒 井 素案と概要版についても見させていただいた。市民の皆様にとっては身近で率直に意見を出せるようなものでなかったと思う。概要版は今後に向けてできるだけわかりやすいような形にする努力も必要だと思う。

委員長 他に質疑はあるか。

窪 之 内 新聞紙上で新タッグ計画の中身が示されたということで、意見は出さなくても意見を持っている方はたくさんいると思う。今後説明会を開催することになっていると思うが、具体的な方法について伺う。

五十嵐課長 本日、成案となった後、5月の広報たきかわで2ページを使い周知する予定である。こういった形か決めていないがシンポジウムのものを実施したいと考えている。新タッグ計画の説明と活力再生に向けてのシンポジウムになる予定である。その中で市民の皆様の意見も伺い、新タッグ計画を進めていく中でも関係者、市民の皆様の理解をいただきながら進めていくことを基本方針にしている。

窪 之 内 ① 既に広報は出す段階になっていると思う。このプランを2ページで広報に掲載するということはかなり集約されていると思う。広報掲載はどのようなになっているのか伺う。

② シンポジウムの実施時期と規模について伺う。

五十嵐課長 ① 新タッグ計画については、内部改革を中心に行っているため市民に直接かわる事業は少ない。例えば行政資産の見直し、公共施設をどうするか、単独事業の見直しなど今回の広報は市民の皆様にかかわりの深いものを中心に説明を

加えたものである。

② シンポジウムの開催時期は未定だが、6月か7月には開催したいと考えている。

窪之内

新タッグ計画は、決定していない事項が結構ある。例えば市民は温水プールが民間委託できない場合は廃止になるのではという不安があるなど、未定についても市民と関係深い部分も当然ある。そういったことも含めて広報に載せているのか伺う。

委員長

休憩する。

休 憩 13:47

再 開 13:52

委員長

再開する。5月広報の掲載内容を配付した。所管から説明する。

五十嵐課長

(別紙資料により説明。)

委員長

説明が終わった。何か質疑はあるか。

窪之内

1回で伝えようとしたので、この内容になったと思う。シリーズにしてもよかったと思う。ごみ処理手数料改定の検討を始めると書いているが内容について触れていない。これだけだと市民からの心配も出ると思う。議員も内容について知らせていかなければならないと思うが、内容を理解していただく機会を早くつくるべきだと思うがいかがか。

五十嵐課長

このプランについては、当然市のホームページには全文を載せる。全部を市民の皆様に伝えるのは難しいと思うが、関係者の理解をいただくことが前提となっているので、窪之内委員の意見も参考にして周知方法については検討したいと思う。

委員長

他に質疑はあるか。

山 口

① 新活力再生プランが完成した。つくり上げる過程で市民委員会、特別委員会で貴重な意見がたくさん出てきた。プランに採用されなかった意見もかなりあると思うので、そのことに対してどういう処理をするのか伺う。

② 3年計画だが、社会情勢、地域環境のスピードがかなり上がっており、いろんな環境の変化があるので、これだけやっていたらいいということではない。新たな問題で重点的に取り組まなければならないことが出てくる可能性があると思う。そのことについての考え方を伺う。

高橋部長

① 市民委員会あるいは特別委員会にその都度所管も同席している。その中で具体的に実行する段階においては、貴重な意見を踏まえて実行することが原則だと思っている。プランの中に活字にはなっていないが所管で適切に実行するように考えている。

② 当初、5年の財政収支見通しからスタートしたが、5年間で計画を練るのではなくて、スピード感を持って3年で計画したところである。山口委員が言うように3年といっても柔軟に対応しなければならない変化が出てくることも想定される。計画にあるなしにかかわらず、新たな対応すべき課題に直面したときには、当然果敢に取り組んでいくことも必要だと考えている。

委員長

他に質疑はあるか。

本 間

前タッグ計画では進捗状況のチェックに問題点があったと思う。新タッグ計画をつくるに当たっての状況の中では乖離があった。留意点として考えていることは何か伺いたい。

五十嵐課長

今回、計画をつくるに当たって市民会議の皆さんには、平成19年からかわつ

	ていただいている。3月30日の全体会議で解散をしたわけだが、今後は新たに市民会議を立ち上げて、新タッグ計画の進捗状況について半年ごとに報告することになっている。進捗状況あるいは財政収支見込みの乖離などを報告する中で対応策についても同時に協議をしていきたいと考えている。
委員長	他に質疑はあるか。(なし) (1)は報告済みとする。新滝川市活力再生プラン(案)を成案として確認することとしてよいか。(よし)成案として確認する。
委員長 中嶋事務局長	2 特別委員会の取り扱いについて 特別委員会の取り扱いについて事務局長から説明する。 新滝川市活力再生プラン(案)は成案となることで確認されたが、本特別委員会の設置期間はプラン決定までとなっている。本特別委員会は本日をもって終了することを確認願う。また、委員長報告については、ほかの常任委員会と同様の取り扱いをするということで委員長報告は行わないことを確認願う。最後に今後の取り扱いとして新滝川市活力再生プランについては、それぞれの所管の対応により各常任委員会で随時報告をしていくことを確認願う。
委員長	説明が終わった。3点についての確認事項があった。1点目の本特別委員会を本日で終了することでよいか確認する。(よし)2点目の委員長報告は行わないことでよいか確認する。(よし)3点目の今後は各常任委員会に報告されることでよいか確認する。(よし)なお、調整がつかない場合は議会運営委員会で協議を行うこととすることでよいか確認する。(よし)2については説明のとおり確認済みとする。
委員長	3 その他について 休憩する。
	休 憩 14:03 再 開 14:04
委員長 副市長	再開する。副市長からあいさつの申し出があるので許可する。 市民会議を組織、そして市議会においては昨年7月に新滝川市活力再生プラン調査等特別委員会を設置していただいたが、内部調整がくれ実質協議が10月からとなってしまったことをおわびするとともに、14回にわたり精力的に議論いただいたことに心からお礼を申し上げたい。また、新タッグ計画の推進のために第1回市議会定例会で議員報酬の独自削減を提案され改革にご協力をいただいたことに重ねてお礼申し上げたい。本計画の策定に当たり、地方交付税の削減や市税収入の減など地方財政が厳しくなる中で少子高齢化時代のまちづくりをどうしていくか、施設のあり方、単独事業の見直しなど身の丈にあった行財政をどうしていくか、滝川市の未来に何を残していくかなど難しいテーマを与えられた中でのプランづくりであったと思う。職員と特別委員会の委員の皆様が滝川市の将来をどうしていくか率直な意見交換の中でつくり上げたいという思いもあり、時間制約のある中でプランづくりがされたものと思っている。プランの進捗状況については今後個別に各所管から常任委員会に報告することになるが、職員一丸となって取り組んでまいりますので引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げますとともに、これまでの経過に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。
委員長	所管から何かあるか。(なし)事務局から何かあるか。(なし)委員から何かあるか。(なし)退任に当たってのあいさつをさせていただく。

副市長から丁寧なあいさつがあり恐縮している。この特別委員会は14回の開催となった。委員各位には精力的な質疑、意見などをいただいた。所管の職員の皆様方も本当に議会と一体となり、滝川市のまちづくりがどうあるべきか、市民サービスをいかに低下させずに財政的に安定した長期にわたる滝川市政を考えていただいた。この新滝川市活力再生プラン調査等特別委員会はきょうで終了することになるが、この意識を各常任委員会に引き継いでいただきたい。行財政改革は永遠のテーマであり、きょうで終わることではない。新たな課題も発生すると思うが、この14回の意識を薄めることなく改革の精神で新タッグ計画がいつとも早く実行され、課題解決に向かって進んでいただけることを切に期待し、皆様に感謝を申し上げて退任のあいさつとする。ありがとうございました。

以上で第14回新滝川市活力再生プラン調査等特別委員会を閉会する。

閉 会 14 : 08